

## ホタテ稚貝分散作業の自動化

事業名 平成11年度水産業再生ベンチャー創出緊急技術開発

課題名 ホタテ稚貝の分散作業の全自動化装置の開発



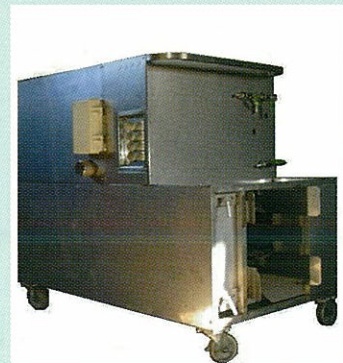
〈西網走漁業協同組合作業所〉



〈振るい装置〉



〈選別装置〉



〈計量詰め込み装置〉

## 事業概要

### ●事業の背景および目的

北海道内の沿岸漁業の三大漁業の一つであるホタテ貝の増養殖作業は、良質の貝の生産をする為の重要な作業となっており、その作業工程には多くの労力と時間がかかっております。本開発では作業工程を機械化、自動化し、作業の合理化、人手不足の問題を解決するものである。

### ●事業の実施期間および内容 平成12年度～14年度

研究項目 / 年度	平成12年度	13年度	14年度
計量装置の開発	←————→		
振るい装置の開発		←————→	
選別装置の開発		←————→	
全装置ライン化・現地試験			←————→

### ●事業の実施場所

北海道網走市南7条東1丁目21番地

### ●実施会員

(株)北村鉄工所

### ●主な成果

#### ・振るい装置の開発

熟練作業員ひとりの毎時処理枚数は約144枚であり、装置導入により1台にて毎時2100枚の処理が可能となり、約15人分の作業能力を有する。

#### ・選別装置の開発

62名の選別作業員が装置の導入により、48名に削減され、特に能取湖内に於いて多く発生する付着物のイガイの除去は、本装置では93.3%の高い効率を示した。

#### ・計量詰め込み装置

収容カゴへの稚貝詰め込み数量は110個となっており、手作業による計量平均数は128個に対し、本装置の平均計量数は117個となっており、正確性が実証された。

### ●研究成果の応用範囲

ホタテ貝のみならず、他の2枚貝の養殖作業に広く応用普及が可能。